

①短期大学部

②入試区分

I期A日程

③出題科目

現代の国語・言語文化（古文・漢文を除く）

④出題の意図

問題の一は、坂本拓弥『体育がきらい』から出題。「体育ぎらい」をどのように捉えればよいかについて論じた文章。設問では、基本的な漢字の書き取り、基本語の意味、キーワードの空欄補充、キーセンテンスの意味の把握などを問うている。

問題の二は、高橋英夫の文章「リアリティの神話」から出題。志賀直哉の小説『豊年虫』について論じた評論文。設問では、漢字の書き取り、小説の引用文中の表現についての筆者の説明、文脈をふまえた文章の補充、文章中のポイントとなる箇所の読解などを問うている。

問題の一・二とも、本格的な評論文の読解力を見る問題となっている。

現代の国語・言語文化「古文・漢文を除く」

【 設問一は著作権の関係で省略します。】

【 設問二は著作権の関係で省略します。】

【 設問二は著作権の関係で省略します。】

商	科
言語コミュニケーション学科	
生活科学科	
保育科	

選択

現代の国語・言語文化(古文・漢文を除く) I期A日程

一

著作権の関係で省略します。

二

著作権の関係で省略します。